

## 改善を！ パブリックコメント

市村 達明 議員

**問** パブリックコメントでは、市民の意見をそのまま載せずに見やすい形に変えている。原文のままではないのか。

**政策推進部長** 行政手続法で意見を整理、要約したものを公示することができるとしているが、担当者によりまちまちになってしまいう可能性がある。この部分について、現在、透明性の確保と双方向性に向けた改正に取り組んでいる。

**問** 変更点は。

**答** 個人情報や誹謗中傷を除き、できる限り原文に近い状態で掲載してはということ。検討を進めている。

**問** 個人情報取り扱いに注意した上で、透明性を確保して市政への反映につなげてほしい。

**双方向性について、表現が「別途検討します」「必要と考慮しております」など大ざっぱ過ぎる。この点についての変更の考えは。**

**答** 「反映する」「今後計画の中に参考にしていく」など、より具体的ですぐ分かる形で載せることができると検討している。

**問** 意見に対し「対応しました」「これはこういう理

由でできません」と、理由を加えていくルールでやっていくということか。

**答** そのように考えている。

**問** 改善はいつになるのか。

**答** 内部協議等、細かいところが残っているが、年度内を目指して積極的に行っていきたい。

## シングルマザーに みなし寡婦控除の適用を

染谷 和博 議員

**問** 寡婦控除は旧来の家族観、結婚観が色濃く残っている。離婚家庭に適用が広がったが、未婚のシングルマザーが抜け落ちている。保育料や市営住宅の家賃は、所得税・市民税の課税状況により算定されるので、寡婦控除をみなし適用し、算定すべきと考えるが。

**健康福祉部長** 寡婦控除は、所得税法が未婚のひとり親を対象としていないので、保育料については適用していない。やっているとこころもあるので検討したい。

**子育て支援課長** 龍ヶ崎市で行っていると聞いている。

**建設部長** 市営住宅は、みなし寡婦控除の規定はない。

**問** 寡婦控除を適用したときの対象世帯は。

**子育て支援課長** 未婚のひとり親23世帯のうち、保育料が発生している10世帯、12名が対象となる。

**建設部長** 市営住宅入居者で、ひとり親世帯はない。

**問** 予算的にはどのくらい必要になるのか。

**子育て支援課長** 年収240万の場合、3歳以下子どもで保育料を試算すると年間24万円。人によって生命保険料控除や社会保険料控除などの控除金額が異なるが、全ての控除を含んだ場合11、12名の場合、保育料の減額は150万円から200万円になる。

**問** 女性1人で子どもを育てる家庭では大きなお金だと思ふ。来年度からやっていただけのように努力できないか。

**市長** 控除は税制度の面もある。検討したい。

## 自殺予防対策

阿部 洋子 議員



こころの体温計のデモンストレーション

**問** こころの体温計の導入について、健康福祉まつりで、こころの体温計のデモンストレーションが行われたが、そのときの状況について。

**健康福祉部長** 健康福祉まつりでは、メニューの1つとして行った。市民の関心が高く、自分の心の状態を気軽に知ることができると、メンタルヘルスの意識付けに役に立つのではないかと、参加者に話を聞いたところ、そのような感じがしたので、導入について考えていきたいと思う。

**問** こころの体温計を体験した人数は。

**健康福祉部長** 78名が体験。その中で、うつ傾向と思われる方が12名、悩みがありそうな方が15名、ケアが必要な方が3名いた。

**問** 私も体験したが、保健センターに来た方に有意義な時間を過ごしてほしいという思いが本心に伝わってきた。来年度の予算化を強く求めるが、所見は。

**健康福祉部長** 経費的にもそれほどかからない。導入の方向で考えたい。

**問** 市は、いのち守り隊として、ゲートキーパー養成講座の受講者を対象に、毎年勉強会を行っているが、今後どのように活動してほしいと考えているのか。

**健康福祉部長** 身近に（自殺について）何か思っ

ている人に気が付いて、少しでも助言できる人を育てていくことを今後も考えていかななくてはいけない。

## ユーバ市との 国際交流を経験して

齋藤 久代 議員



姉妹都市10周年の記念碑(藤代)



姉妹都市25周年のプレート(ユーバ市)

**CITY」と掲げているのを見て感動した。25周年の交流団受け入れ時に市内の適した道路にユーバ通りの名前をつけるのはどうか。**

**政策推進部長** 藤代庁舎前にある水と緑と祭りの広場をユーバガーデンという名称で、そこで交流10周年の式典を行ったことを考えると、近くの道路に仮称や一時的にユーバ通りという名前をつけることは可能だと思ふ。来年は交流25周年なので、この機会にそういったものを作っていきたいと考えている。

**問** ユーバ市では25周年を記念した石碑を交流団がいる間に設置したことに感謝した。市の考えは。

**秘書課長** 水と緑と祭りの広場に石碑があるので、記念プレートを埋め込みたい。

**問** ホームステイ先で、英語が堪能な方と一緒に過ごしたのが本当に助かった。言葉は道具であり、たくさん持っていたほうがいいと実感した。語学について、独自の予算を付けて力を入れるべきと考えるが。

**市長** 市は、いち早く小学校におけるALTを導入しており、対象を3年生に引き下げる準備をしている。問題は子どもへの意欲であり、その点を併せてやらないうち、お金をかければいいのかというのではないと思ふ。